

## 緑化活動に尽力した人たちを表彰

8月1日、久留米シティプラザで「第41回緑の祭典緑の貢献者表彰式」が行われました。花の街づくりや自然保護に尽力した個人や団体が対象。今年も、地域で緑化推進に取り組んでいる1団体、6個人が受賞しました。原口新五市長は「皆さんが、日頃から手入れしていただくことで緑豊かな街になっていきます。今後とも一緒に取り組んでいきたい」と感謝を述べました。



表彰された皆さん

## セキノ興産が久留米に進出

8月10日、市はセキノ興産と進出協定を結びました。同社グループは、富山県に本社を置き、全国に8カ所工場を持つ金属製屋根材などの製造販売会社。久留米工場は9カ所目で、九州では初の製造拠点です。同社代表取締役社長の山口輝雄さんは、「西日本やアジアの拠点として、久留米発の商品を開発したい」と展望を話しました。久留米工場は、来年8月に事業開始の予定です。



協定書を手にする山口社長（中央）と原口市長（右）、立会人の県商工部企業立地課・後瀧和也課長

## つまめる水作りに挑戦

環境交流プラザで、子ども夏休み教室「エコなつ」が開催されました。内容は、環境をテーマとした実験や工作で全15回。7月30日の「指でつまめる、不思議な水をつくる」には、子ども15人と保護者が参加しました。海藻の成分で膜を作ると、持ち運びができることから、プラスチック容器削減のアイデアとして紹介。水の塊に触れた参加者は、ぶよぶよとした感触に歓声を上げていました。



参加者は、出来上がった水の塊を触ったり、さまざまな方向から見たりして変化を確かめていました

## 体験して市場の役割を実感

7月30日、市中央卸売市場で「夏休み子ども市場探検隊」が開催されました。小学生が対象で、子どもと保護者20組が参加。早朝6時に集合し、水産と青果それぞれの市場で競りの見学や体験などを行い、市場の役割を学びました。参加した横田朋樹さん（福教大附属久留米小3年）は「魚が好きで応募しました。市場の人とも話ができたので楽しかった」と話しました。



子どもたちは、魚の産地や保存方法などについて市場の人の説明を熱心に聞いていました

## 特産品で高校生がナシ酢開発

久留米筑水高校食品流通課の生徒が、市の特産品「藤山なし」を使って「ナシ酢」を開発しました。原料には規格外のものを活用。完成に約2年かかりました。蜂蜜やクエン酸などを独自配合し、庄分酢城島工場の協力を得て製品化。ラベルも自分たちで考えました。今年JAくろめ「藤山梨集荷場」で300本限定販売されました。来年、道の駅くるめでの販売も検討されています。



7月22日に市に完成の報告をした、同校3年の川野愛美さん（右）と大下鈴菜さん

## 相撲で深まる交流

7月25日に相撲の安治川親方（元関脇安美錦）と水天宮の宮司・真木啓樹さんが市役所を訪ねました。親方が力士の頃、太宰府天満宮で修業中の宮司と親交があり、これが縁で親方は16年前から水天宮保育園で園児とのふれあいを続けています。親方は、「相撲を楽しみに見てくれる人が増えればうれしい。今後も保育園との交流を続けたい」と抱負を語りました。



来訪した安治川親方（右）と真木宮司

## 福岡コロナ特別警報発令中

新型コロナ新規感染者数が急増しています。感染防止には、一人一人がマスクの着用や手指消毒など基本的な感染対策を徹底することが大切です。

## 市公式 SNS で情報発信中

災害や新型コロナなどの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。



※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

## KBC テレビdボタン

- ①テレビでKBCを視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大12項目表示

## 市 LINE で欲しい情報が届く

市公式ラインは、子育て・おでかけ・しごと・コロナ感染者情報など12分野から欲しい情報だけを選択して、受信することができます。最新情報を受け取るために、受信設定を忘れずに。

## 今月の表紙

## 3年ぶりに夜空に大輪広がる



8月5日に、筑後川花火大会が開催されました。規模は縮小して行われましたが、3年ぶりの開催に約40万人の観客が訪れました。